交配相談サービス実施レポート

浜頓別町：有限会社拓進ファーム
～メガファームにおける交配相談の活用法について～



ジェネティクス北海道は、2009年より交配相談サービスを提供させていただいております。本サービスは、近交係数の上昇を抑制しながら、改良目標に沿った種雄牛が推奨されることが特徴です。

今回は、浜頓別町の有限会社拓進ファームの中島専務に交配相談を始めるきっかけやメガファームにおける交配相談の活用法を伺いましたのでご紹介いたします。

浜頓別町は、北海道最北の宗谷支庁南部に位置するオホーツク海に面した町です。町内にある日本最北の湖、クッチャロ湖は世界一のコハクチョウ飛来地として国際的に注目を集めています。毎年、秋（10月～12月）と春（3月～5月）に約1万数千羽が飛来し、その優雅な姿を見せることから町のシンボルとなっています。

（浜頓別町HP参照）

http://www.town.hamatonbetsu.hokkaido.jp/kategorie/gaiyou/index.html

1 有限会社拓進ファームの概況について教えて下さい。

平成16年3月に4戸の酪農家が集まって設立されました。現在の飼養頭数は800頭、うち搾乳牛は440頭で25頭Wのパーラーで搾乳しています。1頭当たりの平均乳量は9,500kg、平成23年度の出荷乳量は約4,400tでした。

人工授精はJA東宗谷の人工授精師に依頼しています。

2 どのようなきっかけで交配相談サービスを始めたのですか？

交配相談を始める以前は、授精に供する種雄牛を個体ごとに繁殖台帳を見て決めていましたが、多頭化が進んで一度に授精する雌牛が増加し、難しくなりました。さらに牛群の近交係数の上昇が気になり始めたので、これらを解決するために交配相談サービスの利用を開始しました。

『当団の交配相談は、ホルスタイン農協の血統登録情報を利用しているために正確な近交係数を知ることができます。さらに次世代の近交係数の急上昇を抑制する種雄牛が推奨されますので、近親交配の回避を目的に交配相談を利用するメリットがあると思います』

3 交配相談でどんな改良目標を設定していますか？

第1形質を**後乳頭の配置**、第2形質を**前乳頭の長さ**に設定しています。ミルキングパーラーは群単位で搾乳をします。拓進ファームのミルキングパーラーは、一度に25頭を搾乳することが可能ですので、1頭でもミルカーが付けづらかったり、搾乳速度が遅かったりすると、搾乳の作業効率低下の影響が全体に及んでしまいます。これを避けることが出来る形質を設定して種雄牛が推奨されるようにしています。

拓進ファームは交配相談を利用して、①斉一性の高い牛群 ②搾乳性の高い牛群 ③長命連産性に耐えることが出来る乳器と肢蹄を持った牛群 ④人間が管理しやすい牛群の4つに重点をおいて改良をしていきたいと考えています。

『交配相談は、改良目標に適合する種雄牛が推奨されます。効果が牛群に表れるには長い時間を要するため継続することが大変重要となります。当団も交配相談を通して改良のお手伝いをさせていただきたいと思います』

今回は、メガファームにおける交配相談の活用法を（有）拓進ファームの実施例で紹介いたしました。

メガファーム等、多頭化が進むと個体から群単位への管理となり、牛群に斉一性を求める傾向が強くなります。交配相談は、改良目標に合った種雄牛が推奨されて絞りこまれ、その結果、斉一性の高い牛群に改良していくことが可能になると思います。

大変お忙しい中、今回の取材にご協力頂いた有限会社 拓進ファームの中島専務に感謝いたします。今回頂きました貴重なご意見とご感想を活かし、より良い交配相談サービスを提供していきたいと考えています。御協力ありがとうございました。

（改良情報課　大林 敏朗 ）

〈メガファームでの交配相談を活用するメリット〉

1 近交係数の急上昇を回避する種雄牛の選択

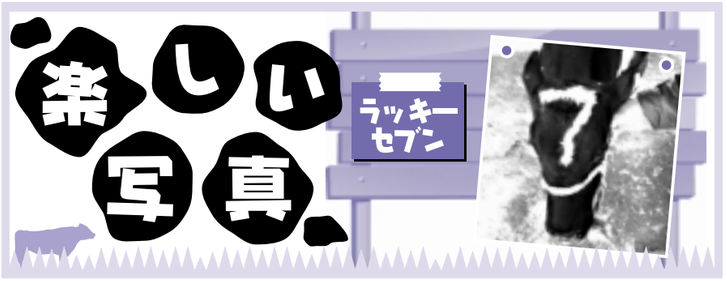
2 飼養管理作業の効率が高くなる斉一性を持った牛群への改良



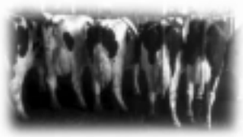
有限会社拓進ファーム（正面）



25頭Wのミルキングパーラー



北海道限定



ジェネティクス北海道
交配相談サービス

理想とする牛群づくりをお手伝いいたします！
詳しくはお近くの事業所または改良部までご連絡ください。

Genetics Hokkaido Mating Service